

様式11の4総括表

在宅支援連携体制に係る報告書(総括表)

保険医療機関コード

保険医療機関名

○提出方法

連携保険医療機関と相談のうえ、下記「□」のいずれかに必ず「レ」を記入すること。

□ 各連携保険医療機関がそれぞれ様式11の4を直接提出する。

具体的な提出方法

(甲・乙・丙の3つの診療所で連携している場合)

⇒甲・乙・丙のそれぞれの診療所が各自で直接提出する。

□ 取りまとめを行う保険医療機関が、連携先を代表して様式11の4を提出する。

具体的な提出方法

(取りまとめを行う機関の場合)⇒自院と各連携先の実績等の合計を記入のうえ提出する。

(取りまとめを依頼する機関の場合)⇒自院の実績等を取りまとめを行う機関に連絡する。

○連携保険医療機関一覧

・連携している保険医療機関名等を以下の表に記入すること。

・提出方法が上記のいずれによる場合でも必ず記入すること。

	保険医療機関コード	連携保険医療機関名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

在宅支援連携体制に係る報告書(新規・8月報告)

保険医療機関コード

保険医療機関名

※ 総括表とともに提出してください。

I. 直近1年間(令和5年8月1日～令和6年7月31日)に在宅療養を担当した患者について

1. 平均診療期間	()ヶ月
2. 合計診療患者数	()名
【再掲】死亡患者数	①+②+③+④ ()名
(1)うち医療機関以外での死亡者数	①+② ()名
ア. うち自宅での死亡者数	① ()名
イ. うち自宅以外での死亡者数	② ()名
(2)うち医療機関での死亡者数	③+④ ()名
ア. うち連携医療機関での死亡者数	③ ()名
イ. うち連携医療機関以外での死亡者数	④ ()名

II. 直近1年間(令和5年8月1日～令和6年7月31日)の訪問診療等の実施回数について

訪問診療等の合計回数	(1)往診	【再掲】 うち緊急の往診	(2)訪問診療	(3)訪問看護 (緊急を含む)
①+②+③ ()回	① ()回	()回	② ()回	③ ()回

III. 在宅支援連携体制について

1. 在宅医療を担当する常勤の医師数	()名
2. 連携する保険医療機関数	()医療機関
3. 直近1年間のカンファレンスの開催状況	()回
4. 地域ケア会議、在宅医療・介護に関するサービス担当者会議又は病院若しくは介護保険施設等で実施される他職種連携に係る会議への出席回数(直近1年間)	()回
5. 往診・連絡体制構築のために協力している在宅療養移行加算を算定する診療所	()医療機関

[記入上の注意]

- 1 当該届出は、在宅支援連携体制を構築する複数の保険医療機関の実績について報告するものである。
- 2 Iの1の「平均診療期間」は、患者1人当たりの在宅医療を開始してからの平均診療期間を月単位で記載すること。
- 3 Iの2(1)の「うち医療機関以外での死亡者数」を記入するに当たり、介護老人保健施設等の入所施設で死亡した患者については、「イ. うち自宅以外での死亡者」欄へ計上すること。
- 4 Iの2(2)の「連携医療機関」とは、事前に緊急時の受入を届出ている医療機関であり、在宅支援連携体制についても含むものである。
- 5 IIの「うち緊急の往診」については、緊急又は夜間・休日若しくは深夜に行った往診を計上すること。